

【令和2年度障害児者医療研修事業 実績】

	講演・研修の内容	開催日時	対象者	講師（実習等講師）	開催場所	募集人数
発達障害診療研修	地域で発達障害児者に関わる医療従事者に対して、発達障害へのアプローチや援助の方法を提供し、実践に繋げ人材育成を図る。 講義 「発達障害と不登校 ～医療からの支援を考える～」	10月11日(日) 13:30～16:30	精神科医、小児科医、内科医師等 看護師等コメディカル 保健、福祉、教育等の領域の支援者	総合センター—中央病院 児童精神科部長 あいち発達障害者支援センター 副センター長 吉川 徹	ウインクあいち	30人
精神保健技術研修 「発達障害地域包括支援研修」	国の「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業」の一環として実施。発達障害児等のかかりつけ医がどの地域においても一定水準の発達障害の診療、対応を可能とすることを目的とする。 講義 国立精神・神経医療研究センターの指導者研修「発達障害地域包括支援研修」の伝達研修	①11月15日(日) 10:00～16:00 ②12月6日(日) 10:00～16:00	小児科医、精神科医、内科医等医師、保健師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士	総合センター中央病院 児童精神科部長 あいち発達障害者支援センター 副センター長 吉川 徹  総合センター中央病院 医師 山田 信之	ウインクあいち	30人
感覚統合療法講演会	発達障害のリハビリ、特に感覚統合的な視点からのアプローチの方法を学び、地域で実践できる人材の育成を図る。 講義 ①1回目 前編 「感覚統合と感覚統合療法について」 ②2回目 後編 「感覚統合的に子どもをとらえる、感覚統合的に関わっていくには」	①10月24日(土) 13:30～16:30 ②11月7日(土) 13:30～16:30	県内の障害児通園施設・保育所・幼稚園・小学校・特別支援学校の関係者・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士	総合センター中央病院 作業療法士 小松 則登	①ウインクあいち (セミナールーム1.2) ②ウインクあいち (大会議室)	30人
遺伝療育講演会	医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性をや行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 講義1「染色体疾患・遺伝子疾患を持つ子どもの支援 2020」 2「染色体・遺伝性疾患があるお子さんに対する作業療法～支援の実際について～ 2020」 3「行動上の問題の理解と対応」	11月3日(火) 13:30～16:30	障害児者の在宅医療にかかわる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育福祉関係者など	総合センター中央病院 副院長 水野 誠司  総合センター中央病院 作業療法士 小松 則登  総合センター中央病院 児童精神科部長 あいち発達障害者支援センター 副センター長 吉川 徹	ウインクあいち	30人
重症心身障害児者関係施設等支援者研修 「食べるコース」	重症心身障害児者への理解を深め、食べることに焦点を当て食事支援について学び介助技術の向上を支援する。 講義「嚥下障害と子どもたち」 講義「私たち、こんな感じで食べてます」 講義「やさしい食事を考える」 講演「見直そう 口腔ケアのポイント」	10月17日(土) 10:00～15:10	重症心身障害児者医療支援に関わる関係施設職員、教育(特別支援学校教諭等)、療育、福祉関係者など	総合センター中央病院 整形外科医師 門野 泉  総合センター中央病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 岩田 直子  総合センター中央病院 運用部 管理栄養士 山崎 茂子  総合センター中央病院 歯科衛生士 田中 恵	総合センター	30人
重症心身障害児者関係施設等支援者研修 「日常ケアコース」	重症心身障害児者の支援に関わる関係者が重症心身障害児者の日常ケアを考える機会とし、地域で生活する重症心身障害児者に安全、安心な支援ができるよう知識・技術の向上を支援する。 講義「重症心身障害児者と骨折予防」 「地域で暮らす重症心身障害児者の感染対策～新型コロナの教訓を活かそう～」 「療育について～医療療育総合センター中央病院こばと棟の現状～」	12月12日(土) 13:45～17:00	重症心身障害児者医療支援に関わる関係施設職員、教育(特別支援学校教諭等)、療育、福祉関係者など	総合センター中央病院 整形外科医師 野上 健  総合センター中央病院 感染管理認定看護師 桑山 祐樹  総合センター中央病院 保育士 瀬織 有美子	総合センター	30人